

商品名 ジアゼパム錠2「サワイ」 医薬品基本情報

薬効	1124 ベンゾジアゼピン系製剤	一般名	ジアゼパム2mg錠
英名	Diazepam	剤型	錠
薬価	5.90	規格	2mg 1錠
メーカー	沢井製薬	毒劇区分	(向)

ジアゼパム錠2「サワイ」の効能・効果

神経症における緊張、神経症における不安、神経症における抑うつ、うつ病の(緊張、不安)、(更年期障害、循環器疾患、消化器疾患、自律神経失調症、腰痛症、頸肩腕症候群、心身症)の(身体症候、緊張、不安、抑うつ)、脳脊髄疾患の(筋痙攣、疼痛)の軽減、麻酔前投薬

ジアゼパム錠2「サワイ」の使用制限等

1. 急性閉塞隅角緑内障、重症筋無力症、リトナビル投与中、ニルマトレルビル・リトナビル投与中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 心障害、脳器質的障害、重篤な呼吸不全、中等度呼吸不全、腎機能障害、肝機能障害、投与した薬剤が特定されないままにフルマゼニルを投与された	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ジアゼパム錠2「サワイ」の副作用等

1. 薬物依存、痙攣発作、せん妄、振戦、不眠、不安、幻覚、妄想、離脱症状、刺激興奮、錯乱、呼吸抑制	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 眠気、ふらつき、眩暈、歩行失調、頭痛、失禁、言語障害、振戦、霧視、複視、多幸症、黄疸、顆粒球減少、白血球減少、頻脈、血圧低下、悪心、嘔吐、食欲不振、便秘、口渇、過敏症、発疹、倦怠感、脱力感、浮腫	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
3. 奇形を有する児、障害児、哺乳困難、嘔吐、活動低下、筋緊張低下、過緊張、嗜眠、傾眠、呼吸抑制、無呼吸、チアノーゼ、易刺激性、神経過敏、振戦、低体温、頻脈、離脱症状、新生児仮死、黄疸増強、体重減少、運動失調、作用が変化、作用が遅延	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

ジアゼパム錠2「サワイ」の相互作用

1. 薬剤名等：リトナビル

発現事象	呼吸抑制、過度の鎮静	投与条件	-
理由・原因	チトクロームP450に対する競合的阻害により、本剤の血中濃度が大幅に上昇	指示	禁止

2. 薬剤名等：ニルマトレルビル・リトナビル

発現事象	呼吸抑制、過度の鎮静	投与条件	-
理由・原因	チトクロームP450に対する競合的阻害により、本剤の血中濃度が大幅に上昇	指示	禁止

3. 薬剤名等：中枢神経抑制剤

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に中枢神経抑制作用を増強	指示	注意

4. 薬剤名等：モノアミン酸化酵素阻害剤

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に中枢神経抑制作用を増強	指示	注意

5. 薬剤名等：オピオイド鎮痛剤

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に中枢神経抑制作用を増強	指示	注意

6. 薬剤名等：アルコール

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に中枢神経抑制作用を増強	指示	注意

7. 薬剤名等：飲酒

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に中枢神経抑制作用を増強	指示	注意

8. 薬剤名等：シメチジン

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤のクリアランスがシメチジンとの併用により27～51%、オメプラゾールとの併用により27～55%減少、本剤の代謝、排泄を遅延	指示	注意

9. 薬剤名等：オメプラゾール

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤のクリアランスがシメチジンとの併用により27～51%、オメプラゾールとの併用により27～55%減少、本剤の代謝、排泄を遅延	指示	注意

10. 薬剤名等：エソメプラゾール

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤の代謝、排泄を遅延	指示	注意

11. 薬剤名等：ランソプラゾール

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤の代謝、排泄を遅延	指示	注意

12. 薬剤名等：シプロフロキサシン

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤のクリアランスが37%減少	指示	注意

13. 薬剤名等：フルボキサミンマレイン酸塩

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤のクリアランスが65%減少	指示	注意

14. 薬剤名等：強いCYP3Aを阻害する薬剤

発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	これら薬剤のCYP3A阻害作用により、本剤の代謝が阻害	指示	注意

15. 薬剤名等：CYP3A4で代謝される薬剤

発現事象	本剤又はこれらの薬剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤とこれらの薬剤がCYP3A4を競合的に阻害することにより、相互のクリアランスが低下	指示	注意

16. 薬剤名等：エトラビリン

発現事象	本剤の血中濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	エトラビリンのCYP2C9、CYP2C19阻害作用により、本剤の代謝が阻害	指示	注意

17. 薬剤名等：マプロチリン塩酸塩

発現事象	眠気・注意力低下・集中力低下・反射運動能力低下等が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に中枢神経抑制作用を増強	指示	注意

18. 薬剤名等：マプロチリン塩酸塩

発現事象	痙攣発作	投与条件	併用中の本剤を急速に減量又は中止
理由・原因	本剤の抗痙攣作用により抑制されていたマプロチリン塩酸塩の痙攣誘発作用が本剤の減量・中止によりあられる	指示	注意

19. 薬剤名等：ミルタザピン

発現事象	鎮静作用が増強、精神運動機能及び学習獲得能力が減退	投与条件	-
理由・原因	相加的な鎮静作用	指示	注意

20. 薬剤名等：バルプロ酸ナトリウム

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤の非結合型の血中濃度を上昇	指示	注意

21. 薬剤名等：ダントロレンナトリウム水和物

発現事象	筋弛緩作用が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に筋弛緩作用を増強	指示	注意

22. 薬剤名等：ボツリヌス毒素製剤

発現事象	筋弛緩作用が増強	投与条件	-
理由・原因	相互に筋弛緩作用を増強	指示	注意

23. 薬剤名等：リファンピシン

発現事象	本剤の血中濃度が低下し作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	リファンピシンのCYP3A4誘導作用により、本剤の代謝が誘導	指示	注意

24. 薬剤名等：アパルタミド

発現事象	本剤の血中濃度が低下し作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	アパルタミドのCYP2C19誘導作用により、本剤の代謝が誘導	指示	注意

25. 薬剤名等：シナカルセト

発現事象	血中濃度に影響	投与条件	-
理由・原因	血漿蛋白結合率が高い	指示	注意

26. 薬剤名等：エボカルセト

発現事象	血中濃度に影響	投与条件	-
理由・原因	血漿蛋白結合率が高い	指示	注意

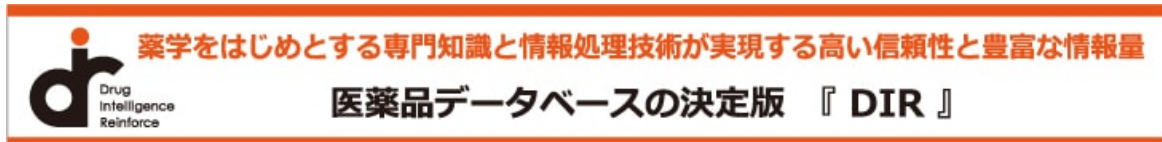
27. 薬剤名等：無水カフェイン

発現事象 本剤の血中濃度が減少

投与条件 -

理由・原因 -

指示 注意



Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.